

福岡県篠栗町

そとぐり



議会だより
No.225



令和7年9月議会号

意見交換会

(篠栗町シルバー人材センター) 2

9月定例会 4

特集：オアシス篠栗温浴施設等廃止について… 10

ここをどうする!?(5人が一般質問)… 14

発気揚々

(和田天神相撲大会)

特集 意見交換会

「生きがい」「やりがい」 地域とのつながり

第36回 シルバー人材センター

今回は、働くことを通じて高齢者の生きがいと健康づくりをすすめて、活力ある社会づくりに貢献するシルバー人材センターの皆さんに話を伺いました。



●現在の会員登録数は。

現在、会員数は184名（男129名、女55名） 令和元年には、203名の時期もありました。急激な減少は避けられていると思います。

●年齢構成の傾向は。

約7割が70歳から79歳です。平均年齢は75・7歳、最高年齢は、86歳です。平均年齢が上がっていますが、60歳から入会できます。

●依頼の多い仕事や割り振りはどのように？

やっぱり、草刈りや草取りが多いですね。（他にも刃物研ぎ・水道検針・庁舎清掃・ビル清掃・家事援助サービスなどがあります。）



柿木 和己さん カブトの森受付

●人材確保での工夫や課題は。

割り振りは、入会面談の時に希望を聞き取り対応をしています。希望通りいかないこともあります。今のところ仕事量と人員のバランスは釣り合っています。

毎月第1と第3木曜日に、事務所での入会説明会を実施しています。口コミで入会された方がほとんどです。現役会員が入会を勧めると安心感がありますね。

●活動を続ける動機は。

心も体も健康になります。孤独感が無く、社会に参加しているという感じですね。家に居てもすることはないし、生きがい・やりがいを感じますし、何か目的があれば



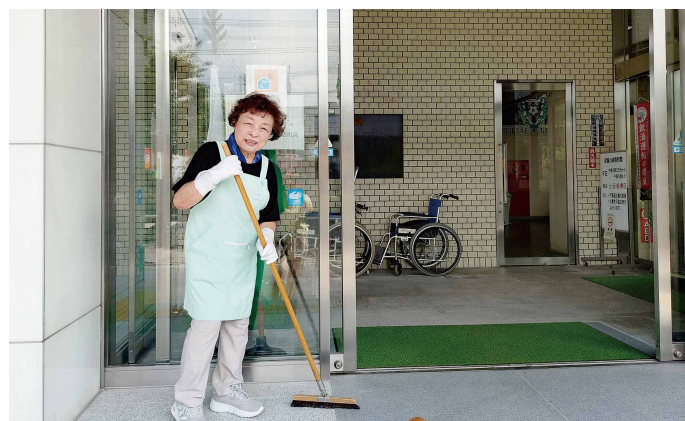
岩本 六子さん 九大の森トイレ清掃

●活動を通して感じる地域課題は。
やはり、人口減少と高齢化です。九大の森で点検をしています、ゴミのポイ捨てやトイレのマナーが悪いですね。

ば続けられます。それに時間に制約されたほうがガンバれるんです。人との交流があり仲間ができて楽しいですよ。



山本 寛一 さん オアシス篠栗清掃



田中 佐代子 さん 役場庁舎清掃

●外国人向けの案内板等はありませんか。
ありません。必要だと思います。
●地域を支えてこられた立場から、感じることや町への想いは。
篠栗町は森林に囲まれているので、林業の振興に取り組んで。企業誘致を進めて就業先を増やせば活性化するんじゃないかなあ。

シルバー人材センターは、会員による自主・自立・共同・共助を基本理念とし、会員1人ひとりが豊かな経験と知識を活かし、お互いに協力しながら就業しています。健康で働く意欲のある60歳以上の方が仕事を通じて、生きがいや社会参加を促進し地域のエネルギーになっていただきたいと思います。

●今後、町や議会と連携していきたいと感じる場面やテーマはありますか。
町のことでわからないところがあるので、行政説明会を各地域で実施してほしい。
仕事の80%は町からの発注で、今後、民間への事業拡大を考えているので、連携をお願いしたいです。



活躍しているシルバー人材センターの皆さん

令和6年度 決算認定

一般会計歳出

(百万円未満四捨五入 単位：円)

会 計	決 算 額		前 年 度	
	歳 入	歳 出	歳 入	歳 出
一 般 会 計	140億5600万	134億5500万	118億300万	114億800万

特別会計決算・公営企業会計決算

(百万円未満四捨五入 単位：円)

会 計	決 算 額		前 年 度	
	歳 入	歳 出	歳 入	歳 出
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	26億5800万	26億1400万	28億3800万	27億5800万
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	5億3200万	5億2800万	4億7100万	4億6800万

会 計	区 分	決 算 額		前 年 度	
		収 入	支 出	収 入	支 出
水 道 事 業 会 計	収益的収入及び支出	6億3700万	5億5300万	6億3500万	5億2500万
	資本的収入及び支出	2億2800万	4億1200万	2億200万	3億6000万
流域関連公共下水道事業会計	収益的収入及び支出	9億500万	8億5200万	9億600万	8億2700万
	資本的収入及び支出	3億7100万	5億8300万	3億4500万	5億7400万

令和6年度 決算審査報告

一般会計・特別会計・公営企業会計

監査委員 石内 清之 今長谷 武和

令和6年度各会計の歳入歳出決算書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その決算計数は、関係諸帳票及び証憑書類と合致しており、正確であることを確認した。

また、予算の執行又は事業の経営は、例月現金出納検査及び定期監査を通して主に審査した結果、概ね経済的、効率的かつ効果的に行われていた。

令和6年度の主な事業や成果

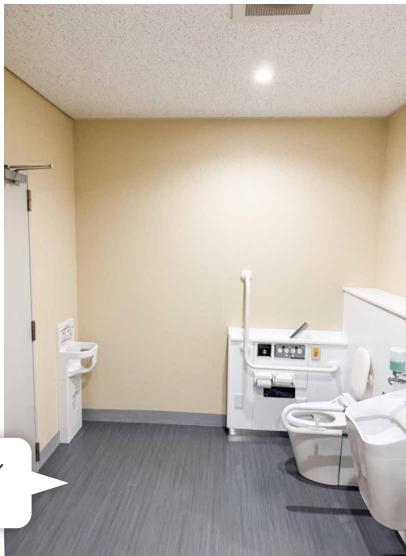
(1万円未満四捨五入)

庁舎耐震工事に伴う多目的トイレ設置工事

882万円



庁舎1階
西側に設置



多目的トイレ
の様子

篠栗町ふるさと寄附金実績額

年 度	金 額	件 数
令和4年度	2億4218万円	19,613件
令和5年度	1億5083万円	10,269件
令和6年度	2億71万円	13,494件



ラッピングトラックでふるさと納税広告を実施
(R6ラッピングトラック製作 有幸運輸株式会社)

春らんまんハイキング2025でお披露目
福岡⇄大阪間を走行中

たけのこ児童クラブ室新築工事

1億9594万円

勢門校区の放課後児童クラブにおける待機児童が0になった。



人事

委員会委員を再任

篠栗町固定資産評価審査委員会委員の選任について

(議案第47・48号)

松本 秀治 氏

村嶋 茂則 氏

令和7年9月30日をもって任期満了となり再任された。



篠栗町教育委員会委員の任命について

(議案第49号)

田熊 裕子 氏

令和7年12月15日をもって任期満了となるため再任された。



財産組合議会議員に三浦氏

糟屋郡篠栗町外一市五町財産組合議会議員の選挙について

(選挙案第4号)

任期満了に伴う組合議会議員1名の選挙は指名推選により三浦正氏に決定

条例

18歳まで入院自己負担無しに

子育て支援施策に伴う篠栗町公費医療助成拡充に係る関係条例の整備に関する条例の制定について

(議案第50号)

子育て支援策として、公費医療助成を拡充するため、関係条例の整備をすることについて、議会の議決を求められた。

主な内容は、対象年齢を18歳までとし、入院自己負担なし、入院外500円/月とそれぞれ変更となった。(乳幼児は、従来通り、入院・入院外ともに自己負担なし)

令和8年4月1日から施行。



国民保護協議会を設置

篠栗町附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(議案第51号)

武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に基づく国民保護協議会を設置するため条例の一部を改正することについて、議会の議決を求められた。



特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(議案第53号)

国民保護協議会委員の報酬等の額を規定するため条例の一部を改正することについて、議会の議決を求められた。



委員は、どのような方が対象か。

自衛隊、警察、福岡県、篠栗町、消防、医療機関、日本赤十字社、電力会社、電話会社の各職員。

オアシス篠栗トレーニング ルーム・温浴施設廃止



篠栗町総合保健福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(議案第54号)

篠栗町総合福祉センターにおけるトレーニングルーム及び温浴施設の廃止並びに貸室の一部を廃止することについて、所要の規定を整備するため、当該条例の一部を改正することについて、議会の議決を求められた。

施設の利用 令和8年3月31日まで

(回数券の利用、払い戻しも同日まで)

【詳細・関連記事】

一般会計補正予算

(9ページ)

オアシス篠栗温浴施設等廃止について

(10・11ページ)

賛成討論

栗須 議員

オアシス篠栗の温浴施設は、運用から25年が経過し、施設の老朽化や機能低下が進んでおり、継続するには大規模な改修が必要である。

また、利用者は少数に限定され、町外利用者の方が多い状況にある。さらに、人件費や原材料費の高騰により施設運営における経費全体を押し上げている。

全国の自治体でも、同様の課題に直面し廃止や用途変換が相次いでいる。費用対効果が低く、区切りをつけるときだと判断する。

今後、子供から高齢者まで、明るく交流できる「多世代拠点施設」として生まれ変わることを期待し、賛成する。

太郎良 議員

オアシス篠栗にある温浴施設は建築からすでに25年が経過し老朽化が進み、安全性や快適性を十分に確保することが難しい状況にある。利用は町民全体の1%未満にとどまり、維持管理費や改修費は、町財政を圧迫しかねない。限られた資源を公平に活用する観点からも、公共施設として存続を正当化することは難しいと考える。

今後は高齢者支援や子育て支援など、地域住民の新たなニーズへの対応が重要であり、財源を新しい福祉サービスに振り向けることが、町民福祉の向上につながると確信し、本議案に賛成する。

崎山 議員

町営温浴施設は町民の健康づくりや交流の場として長年役割を果たしてきたが、老朽化が著しく、改修には多大な費用を要する状況である。利用は町人口の0.4%にとどまり、半数が町外からであることから、公共施設としての公平性や費用対効果の点で現状維持は困難である。高齢者支援や子育て支援など多様な福祉ニーズに財源を振り向け、新たな健康づくりや交流の機会を整備することにより、より多くの町民に恩恵を届けることが可能となる。よって本議案に賛成する。

その他



学校のタブレット端末を更新

財産の取得について

〔動産の買入れ(小中学校1人1台端末購入)〕

(議案第57号)

令和2年度以降に整備した児童生徒一人一台(教職員を含む)タブレット端末を更新するため議会の議決を求められた。

取得する財産 タブレット端末 3075台

契約金額 1億4898万7608円

契約方法 随契契約(公募型ラポーザル)

契約先 株式会社 内田洋行 九州支店

管理者を更新



指定管理者の指定について〔篠栗町立児童館及び放課後児童クラブ〕

(議案第58号)

篠栗町立児童館及び放課後児童クラブの指定管理が満了となるため、引き続きエフコープ生活協同組合を指定した。

期間は、令和8年4月1日から5年間。

請 願

「子どもたちのゆたかな学びの保障と学校の働き方改革の確実な推進を求める意見書」の採択を求める請願書

(請願1号)

請 願 者

福岡県教職員組合粕屋支部
篠栗中分会長 山本 千利

紹介議員

浦野 雅幸
横山 和輝

(概要)

持続可能な学校の実現と子ども達のゆたかな学びの保障のため、学校の長時間労働是正に資する政策が実現されるよう、国の関係機関への意見提出を求められた。

文教厚生常任委員会で審議された結果、議会に意見書案第1号として提出、全員賛成で可決され、関係機関に意見書を提出した。

なお、請願についてはみなし採決とした。



各会計補正予算 (議案46号、66号～68号)

予 算

会計別の補正予算額は下記のとおり。

万円未満四捨五入

	補正額	補正後予算額
一般会計	7億3,118万円	154億9,112万円
国民健康保険特別会計	170万円	27億3,666万円
後期高齢者医療特別会計	613万円	5億7,062万円

執行部、補正予算案を撤回

令和7年度篠栗町一般会計補正予算(第5号)について

(議案第65号)



一般会計の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6億414万77000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ154億9211万5000円とする補正予算の承認を求められた。

審査の中で、地域の食と居場所づくり支援事業補助金100万円について、予算執行の緊急性の認識、補助団体の数の調査不備や、活動内容に対する規定についての疑義などが指摘され、補助金の交付の是非についての議論の掘り下げと明確な方向性を定めたいと、改めて議会のご理解をいただくことが必要と判断し、執行部は議案第65号を撤回した。

問 補正予算での補助金の創設は異例であり、緊急性があるように見えない。

答 【社会教育課長】 今年5月に3つ目の団体が活動を開始したことから、急いで4月から支援支給したい。

問 補助すること自体は悪いことではない。もともと補助金はなかったわけで、今すぐ出さなければならぬ状態なのか。

答 【社会教育課長】 団体から補助をお願いされているわけではなく、私たちが実際に見て補助したいと考えた。

問

3団体以外にも食事を出している地域のコミュニティが複数あるが、3団体以外は参加できないということか。

答

【社会教育課長】 今、確認できているのは、3団体プラス1団体分は計上している。

問

みんなが平等に一齐にスタートできるように調整して、来年度当初予算に計上しては。

答

【社会教育課長】 新しく出てきた事業に対しスピーディに補助してあげたい。

問

事業主体は町民だが、町の支援となると町外の人までというのは、いかがなものか。

答

【社会教育課長】 町外の方が居ても僅かな額の補助なので認める。

意見

町民の血税をいただいているものであり、金額が僅かだからいいとか、そのような問題ではないし、思いや気持ちだけで補助を決めるものでもない。

町長

子供が健やかに育成される環境整備と地域コミュニティの活性化になるのではと、提案したが、一部のこども食堂に限定するような提案となったこと、年度当初に遡って交付する理由やほかの補助を受けている団体への交付の是非について、議論の掘り下げが足りず、ご理解を得られないと判断した。

については、要綱を詳細につくり上げ、明確な方向性を固めた上で、令和8年度当初予算にてご提案できるよう、再度協議を重ねてまいりたい。従って、該当する予算100万円を減額して、再度補正予算案を提出したい。

補正予算案の再提出

令和7年度篠栗町一般会計

補正予算（第5号）について

（議案第68号）



執行部は、撤回した議案第65号に代わり、地域の食と居場所づくり支援事業補助金100万円を除いて、新たに議案第68号を提案した。

内容は、一般会計の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6億4047万7000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ154億9111万5000円とする補正予算で、議会は、その承認を求められた。

その際、浦野議員より、オアシス篠栗の温浴施設廃止後の具体的内容が決まっていないこと等を理由に、大浴場改修設計委託3213万円を削除する※修正動議が提出されたが、採決の結果、修正案は賛成少数で否決され、原案が賛成多数で可決、承認された。

※修正動議…議案の修正を求める提案のこと

反対討論

浦野 議員

本議案には総合保健福祉センター運営費に委託料として3213万3千円計上されている。オアシス篠栗の温浴施設を、子育て支援を中心とした新しい交流拠点にする方針であり、そのための解体と新施設の設計委託料である。

しかしながら、現段階では新しい交流拠点の具体的な内容は決まっておらず、温浴施設の廃止すら周知されていない。町民への施設廃止の周知とともに、新しい拠点の運用方針について意見や要望を収集し、どの様な施設が最も町民の福祉サービスになるのか決定すべき。施設内容が確定して、やっと解体や設計を予算計上できるもの。

横山 議員

温浴施設を廃止し、解体設計委託費約3213万円が計上されている。

理由として、存続するために、改修費が高額になると説明があった。財源を抑えるというそこだけ切り取って見ればもっともらしいが、温浴施設は福祉事業である。

一方、篠栗北地区産業団地では、造成事業で20億円以上と温浴施設を存続するための費用の何倍以上もの赤字を計上し、現在も多額の損失を出し続けているにも拘わらず、何も問題提起されていない。財政を問題視するなら福祉事業の前に行わなければならないことであり、温浴施設の継続が財政圧迫の理由にはできない。

門馬 議員

総合保健福祉センター大浴場は25年間もの間親しまれ、町民の憩いの場だが、老朽化を理由に取り壊し新施設を建設する計画である。

しかし、現時点で跡地利用の具体像は示されておらず、再生費用に補助金が使えるからと急ぎ、仮の空想の予算で計上する事は、町民の声を軽視し、議会の議論を形骸化させる危険もある。

大切なのは補助金の有無ではなく、町民にとっての必要性であり、十分な町民への周知と希望の声を拾い上げ、議論と合意形成のうえで予算に諮るべき。

問 トレーニングルームは切り離して考えるべきでは。

答 お風呂があるから使用するという方が多く、指定管理者に相談したが、単独で経営するのは難しいとのことである。

問 民間に切り替えた事例もあるが。

答 公共営業の動向を調査し、データ収集した結果、廃止を判断した。

問 サウナとシャワーに縮小してでも住民サービスを行うべきでは。

答 見積りを取ったが、サウナだけの利用者数など試算し、営業は困難と判断した。

問 廃止後の跡地利用は。

答 オアシス篠栗の理念に立ち返り、子育て支援や高齢者の生きがいづくりなど全世代の交流の場として再生したい。

【予算特別委員会】温浴施設廃止後の設計委託費に関する補正予算審査Q&A（抜粋）

問 温浴施設廃止後の方向性は。

答 子ども家庭センターの新設など、今回の委託料で設計案を作成したい。

問 方向性も決まってないのに実施設計はできないのではないか。

答 期間も含めて厳しいため、基本設計を作る中で、実施設計の前に皆様の意見を聞きたい。

問 廃止後のことを決めたくて廃止するべきではないか。

答 粕屋保健福祉事務所から大規模改修ができない限り温浴施設は使えなくなるという指導を受けており、廃止という判断をした。提案している予算の一部を生かしつつ、コンサルタントによる提案も含めて、次の世代に見合うオアシス篠栗の在り方を示したい。

問 温浴施設の廃止について、町民への周知はどのように行うのか。また、今後の施設に対する意見や要望は聞く用意があるのか。

答 広報やホームページなどを通じて周知する予定。住民説明会は行わない。窓口に来ていただいた方の疑問にはお答えする。

問 壊すときは周知しないのか。

答 大浴場をこれ以上継続できないということについては、十分、議会の皆様にもご理解いただいているという前提で進めており、このままずっと改修を続けて温浴施設を続けるということは難しい。温浴施設の廃止に当たっては、理由をしっかりと説明しなければならないと思う。

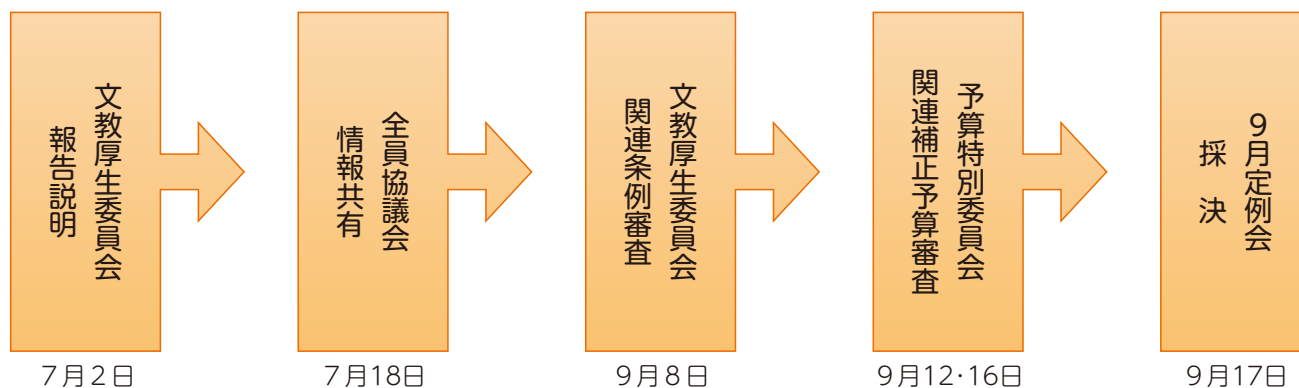
問 新しい施設を設計するにあたっては、どのような人が集まって案を作るのか。

答 住民意見の漏れがないような代表の方を選ぶなど、メンバーはこれから考える。

【過去の報告事項に対する意見】

- レジオネラ菌の検出による2回の休業や設備が現在の基準に適合していないことが分かっている。保健所が許可できないとしているのは、まだリスクはあるからだと思われる。特にレジオネラ菌の検出は、感染すると死亡のリスクがあり、施設の現状からみても看過できない。
- トレーニングルームに関しては、介護予防事業に利用している実情もあり、契約形態を見直すことで、存続の検討をすべきである。
- オアシス篠栗は、福祉避難所として指定されているので、大浴場の廃止による代替として、小規模の浴室、または、シャワールームなど、福祉避難所に見合う機能を備えるべきである。
- 廃止にあたっては、住民説明会を開催すべきである。

特集：オアシス篠栗温浴施設等廃止について



25年間、町民の健康と交流を支えてきた総合福祉センター「オアシス篠栗」が、老朽化や運営上の課題により、転換期を迎えている。

執行部からは、今後の持続可能な活用を見据え、修繕を重ねつつ耐用年数を超えて使用されてきた温浴施設等廃止の方針と、温浴施設にとらわれない新たな福祉拠点の構築を目指す考えが議会に示された。委員会での説明、条例審査および補正予算審査を経て、トレーニングルームおよび温浴施設等の廃止が正式に採択された。詳細は以下のとおり。

【文教厚生委員会】執行部からの報告説明の主な内容

- 利用者の減少：利用者数が減少し、有料利用者は町民のわずか0.4%。
- 運営費の増加：燃料・電気代や人件費の高騰などにより、今後さらに運営コストが増す見込み。
- 老朽化による改修負担：築25年以上が経過し、安全な運営継続には約6億円の大規模改修が必要。
- コスト回収の入浴料試算：福祉施設として成立しない価格（一律1,210円）で現実的でない判断。
- 他自治体の事例：福岡市、宇美町などで同様の施設が廃止・転用されている。

町の説明では、運営や維持が困難となった背景についてデータに基づいて共有され、町全体の福祉向上を図るためには方向転換が必要であることが示された。また、今後も条例の理念に基づき、すべての世代が利用できる持続可能な施設として再構築していく必要性が示された。

【全員協議会】執行部より全議員へ委員会説明内容の共有

【文教厚生委員会】関連する条例審査Q&A（抜粋）

- 問** 廃止を実施するにあたって町民の声は聞いたのか。
- 答** 令和5年度6年度の利用者アンケートには、施設の根本的な老朽化に起因する厳しい意見や改善を望む声が年々増加していた。その町民の要望に応えるにも修繕では難しい。
- 問** 住民は続けて欲しいという話であるのに、廃止するというのは話が違うが。
- 答** 経費節減などで継続を模索したが、利用者が0.4%の施設に今後かかる費用を考えると公平的ではないなど廃止は苦渋の決断でもあった。
- 問** 改修費用6億円の内訳は。
- 答** ろ過機械設備更新や地下駐車場天井内配管更新、機械室内設備の更新、浴室天窓、浴槽、サウナ、バイオマスボイラーなどの改修費用。

臨時会

(7月18日)

災害測量設計業務委託

専決処分の承認を求めること

について(専決第8号)

〔令和7年度篠栗町一般会計補正予算(第2号)について〕

(議案第43号)



令和7年6月に発生した大雨による災害の復旧のため、議会の承認を求められた。

物価高騰対応重点支援

給付費支給

専決処分の承認を求めることについて

(専決第9号)

〔令和7年度篠栗町一般会計補正予算(第3号)について〕

(議案第44号)



この給付金は、令和6年度に行われた定額減税により十分な恩恵を受けられない方に対して給付された調整給付の支給額に不足が生じる場合に追加で給付を行うため、議会の承認を求められた。

産業団地法面を改修

工事請負契約の締結について

(議案第45号)

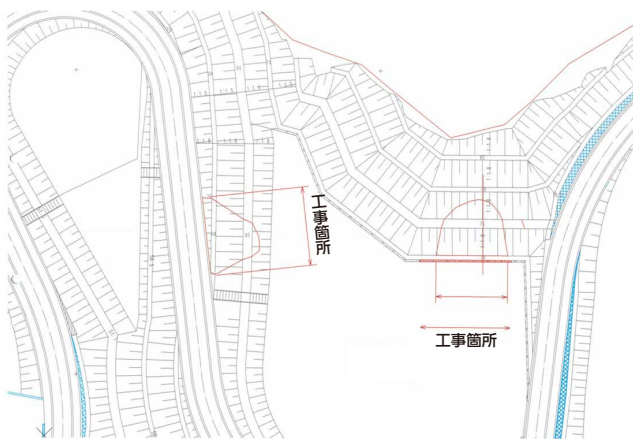


豪雨による法面崩壊に伴う改修工事を行うための契約について、議会の議決を求められた。

契約の相手方 不二グラウト工業株式会社

契約の方法 指名競争入札

契約金額 9124万600円



事業用地2の法面2箇所の恒久対策工事

糟屋地区議長協議会表彰を受賞

町議会議員としての長年の功績を称え、古屋議長と栗須議員に糟屋地区議長協議会から表彰状が贈られました。



栗須議員

古屋議長

議 決 結 果 一 覧 表

	議案	議 案 名		議決結果
7月臨時会	43	専決処分の承認を求めることについて（専決第8号） 〔令和7年度篠栗町一般会計補正予算（第2号）について〕	詳細はP12のとおり	全員賛成原案承認
	44	専決処分の承認を求めることについて（専決第9号） 〔令和7年度篠栗町一般会計補正予算（第3号）について〕		全員賛成原案承認
	45	工事請負契約の締結について		賛成多数可決 (可8:否3 横山・浦野・門馬)
9月定例会	46	専決処分の承認を求めることについて（専決第11号） 〔令和7年度篠栗町一般会計補正予算（第4号）について〕	詳細はP8のとおり	全員賛成原案承認
	47	篠栗町固定資産評価審査委員会委員の選任について	詳細はP6のとおり	全員賛成同意
	48	篠栗町固定資産評価審査委員会委員の選任について		全員賛成同意
	49	篠栗町教育委員会委員の任命について		全員賛成同意
	50	子育て支援施策に伴う篠栗町公費医療助成拡充に係る関係条例の整備に関する条例の制定について		全員賛成原案可決
	51	篠栗町附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について		全員賛成原案可決
	52	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		全員賛成原案可決
	53	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	詳細はP6のとおり	全員賛成原案可決
	54	篠栗町総合保健福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	詳細はP10のとおり	賛成多数原案可決 (可7:否4 今長谷・横山・浦野・門馬)
	55	篠栗町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について		全員賛成原案可決
	56	篠栗町水道法施行条例の一部を改正する条例の制定について		全員賛成原案可決
	57	財産の取得について 〔動産の買入れ（小中学校1人1台端末購入）〕	詳細はP7のとおり	全員賛成原案可決
	58	指定管理者の指定について 〔篠栗町立児童館及び放課後児童クラブ〕		全員賛成原案可決
	59	訴えの提起について 〔建物明渡等請求事件〕		全員賛成原案可決
	60	令和6年度 篠栗町一般会計歳入歳出決算の認定について	詳細はP4のとおり	全員賛成認定
	61	令和6年度 篠栗町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		全員賛成認定
	62	令和6年度 篠栗町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		全員賛成認定
	63	令和6年度 篠栗町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について		全員賛成認定
	64	令和6年度 篠栗町流域関連公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について		全員賛成認定
	65	令和7年度 篠栗町一般会計補正予算（第5号）について	詳細はP8のとおり	撤 回
	66	令和7年度 篠栗町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	詳細はP8・P9のとおり	全員賛成原案可決
	67	令和7年度 篠栗町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について		全員賛成原案可決
	68	令和7年度 篠栗町一般会計補正予算（第5号）について		賛成多数原案可決 (可8:否3 横山・浦野・門馬)
	選挙案第4号	糟屋郡篠栗町外一市五町財産組合議会議員の選挙について	詳細はP6のとおり	指名推薦 三浦 正氏
	意見書案第1号	子どもたちのゆたかな学びの保障と学校の働き方改革の確実な推進を求める意見書	詳細はP8のとおり	全員賛成原案可決
	請願1号	「子どもたちのゆたかな学びの保障と学校の働き方改革の確実な推進を求める意見書」の採択を求める請願書		※みなし採択

※みなし採択 同様の案件（議案や請願）が先に採択された場合、採決をしないこと

いっしょにやってみよう！

5人が一般質問

1. 荒牧 泰範 議員…………… 15

- 町の状況、この10年の検証は

2. 崎山 佐穂 議員…………… 16

- リチウムイオン電池の回収場所の増設を

3. 吉本 文枝 議員…………… 17

- 公共施設トイレの洋式化を

4. 横山 和輝 議員…………… 18

- 町民体育館、武道館を廃止するのか
- やり取りを口頭のみで行った結果、過去に「撤退」となったが

5. 栗須 信治 議員…………… 19

- 部活動改革の方向性は

一般質問とは、議員が執行部に、その町の行政全般の事務執行状況や政策方針などについて、報告や説明を求め、所信や疑問を尋ねることです。

年4回開催される定例会の中で行うもので、臨時会では行いません。

ここに掲載したのは要約で、質問者本人の原稿をもとに作成しています。
議事録の全文は議会事務局・町立図書館・クリエイト篠栗・オアシス篠栗・各公民分館および町ホームページで閲覧できます。

町の状況、この10年の検証は

町長「これから町の可能性に
期待感を持っている」



あらまき やすのり
荒牧 泰範



平成25年の決算統計資料を見

て現在と比較すると、財政力指数は0.502から0.6を超え、実質公債費比率は7.1から6以下となり積立金現在高も30億円弱から10億円ほど積み増しされた。現債高倍率も1.23から1を切る水準になっており、概ね健全な財政状況に向かっていると思われるが、3点気になるところがあるのでお尋ねする。

問

普通建設事業費において補助事業も積極的に取り入れられているものの、単独事業費が大きく増額になっており、これからも各施設の長寿命化に莫大な予算が必要となるが、財政的に見通しは立っているのか。

答【財政課長】

普通建設事業は国県補助事業を積極的に取り入れ、交付税措置のある起債を利用し、支出を抑えて来た。

令和6年度は北地区産業団地用地の買戻し売却を除けば、一般財源支出は3億9千万円で、平成28年度以降は計画的運営と思う。

一般財源支出を一定範囲に設定し、投資を進め将来に過度な財政負担を残さぬよう努める。

問

地方交付税が微減で、その要因が基準財政収入額の増加によるものなら問題ないが、他の原因はないのか。

答【財政課長】

交付税算定は需要額の変動や制度改正の影響を受けたため、単純には評価できない。

毎年度、需要面・収入面・制度面の3つの側面から要因を丁寧に分析し、歳出抑制や安定的な税収確保の取り組みに反映している。

問

そして何より一番心配なことが、人口減少に悩む日本において、唯一元気なエリアである福岡都市圏にありながら、人口が全くの横ばいであるが、策を講じるべきと思うが。

答【まちづくり課長】

令和2年までの10年間の人口は3万1500人ほどを上下推移していたが、その後減少し、令和6年は3万1265人で、近年の住宅地価格上昇が主な原因と思う。

全国的な人口減少・少子高齢化が進む中、人口増加も大事なことで、新規事業展開や町のPR活動等に力を注いでいきたい。

リチウムイオン電池の 回収場所の増設を

都市整備課長「まずは、公共施設での
設置を検討していく」



さきやま さほ
崎山 佐穂

録画配信



問

全国で誤って廃棄されたリチウムイオン電池による火災が増加している。

モバイルバッテリーやハンディファンなど身近な製品に使用されている一方、廃棄方法を誤ると重大な火災リスクを伴う。関係者の命はもちろん、施設の復旧費用や時間を考えると大きな損失となる。町民への周知、安全教育、回収場所の利便性向上を組み合わせ、火災を防ぐ体制が必要であるが。

答【町長】

4月に環境省から通知があり、市町村は家庭から排出されるすべてのリチウム蓄電池等の回収体制を構築することとされた。須恵町外二ヶ町清掃施設組合においても、5町に対し次の会議で具体的な指針を作った。適切に処理するよう注意喚起することとしている。

問

町民への分かりやすい周知方法をどう考えるか。

答【都市整備課長】

現在は、ホームページや窓口でのチラシ配布を行っている。しかし、多くの製品に内蔵され認識しづらいため、今後は、製品を絵や写真で示したパンフレットを作成し、より分かりやすい周知方法を検討していく。

問

回収拠点を町内には増設できないか。

答【都市整備課長】

設置には保管方法や消火設備の検討が必要で、保管場所も限られるため受け入れ量の調整が必要である。まずは、役場や公共施設での設置を検討していく。

問

消防団員への教育は。

答【総務課長】

消火活動は、「火花や煙が激しい場合は近寄らない」、「勢いが収まったら水や消火器で消火」、「消火後は可能なら水没」という手順が周知されている。「衝撃を与えない。分解しない」、「高温を避ける」、「処分時は分別を確認」など、発火防止の啓発を行っていききたい。

問

消火活動の学びのアップデートは。

答【総務課長】

現在、リチウム電池に限った指導は行っていないが、今後話していく。

問

ごみ収集作業員や処理施設職員への安全教育は。

答【都市整備課長】

収集運搬中の疑義や事故は都度協議し、安全に努めている。処理施設職員は一部事務組合の所管だが、町はホームページ等で正しい分別方法を啓発している。

公共施設トイレの洋式化を

担当課長「計画的に整備する」



よしもと ふみ え
吉本 文枝



問

安全面・健康面・衛生面・災害時など、あらゆる面からトイレの在り方は重要だ。公園や児童館、学校、体育館など、いまだ和式トイレが多く残っている。高齢者や足腰に不安がある方、小さな子供がいる保護者、妊婦にとって利用しづらく、外国人にとっても不便である。公共施設のトイレ環境は、全ての人が住みよいまちづくりの観点からも整備を進めていく必要があると考えるが。

答【町長】

公共施設の利用に当たっては

安心安全に配慮したものでなくてはならない。しかし、整備が追いついていないという事実は認識している。

問

公共施設トイレの洋式化の整備状況は。

答【学校教育課長】

小学校は81・3%。中学校は32・7%。

答【子ども育成課長】

児童館は、81・3%。

答【社会教育課長】

社会教育施設は、100%。

社会体育施設は、41%。

カブトの森公園の太祖宮横のトイレ・武道館・町民グラウンドは、洋式トイレは無い。

答【都市整備課長】

都市公園は、カブトの森運動公園を除いて、全て和式トイレ。

問

洋式化を含むトイレ改修の今後の計画と国や県の補助制度活用は。

答【学校教育課長】

令和7年度は勢門小学校と北勢門小学校の体育館の改修にあわせてすべて洋式便器に更新し、多目的トイレを1基ずつ増設する。改修が必要な際に、順次洋式化を進めていく。その際、事業費の3分の1の補助を受けられる学校施設環境改善交付金を活用する。

答【子ども育成課長】

3児童館の老朽化に対応して計画的に改修工事を進め、利用者や指定管理者の意見を聞き、維持補修全般に係る補助金の中で洋式化を検討する。

答【社会教育課長】

故障時に順次洋式化する。

答【都市整備課長】

都市公園や観光トイレなどは、災害レジリエンス強化のため、ソーラーパネル設置と照明のLED化の改修にリース事業を適用し、併せて改修の可能性を検討する。

問

学校の改修予定は。

答【学校教育課長】

各校の改修計画は、長寿命化計画等にとつて行っている。順次進めていく。

問

改修工事前にトイレのにおい対策はできないか。

答【学校教育課長】

改修時にコンサル等の意見を聞きながら、改善していきたい。

(要望)

早めの改修と早急におい対策を要望する。

町民体育館、武道館を 廃止するのか

町長「管理計画・個別計画に
基づいて対応したい」



よこやま かず き
横山 和輝

録画配信



問

6月定例会において、町長より「町民体育館と武道館は存続を含め、方向性を定めたい」と、町民体育館と武道館を廃止するとも思えるような発言があったので、質問する。

町民体育館、武道館の年間利用人数及び、使用状況は。

答【社会教育課長】

令和6年度は、町民体育館4万192人、武道館2万2463人。町民体育館は15の定期利用団体のほか、行政区の球技・軽スポーツ大会、地域のイベントなどで利用されている。

災害時には避難所、選挙時には投票所としても活用され、武道館は五つの定期利用団体に加え、篠栗町中学校や地域クラブでも利用されている。

問

多くの利用者がいる中、保守・改修工事の計画はされているのか。

また、近年の猛暑による熱中症対策として、エアコンの取付けなどの空調設備工事を行う考えはあるのか。

答【社会教育課長】

今年度、策定予定の公共施設等総合管理計画や個別施設計画に基づき、検討していく。

問

検討ではなく、補修・改修し、長く使用する考えがあるのか。それとも廃止する考えなのか。

答【町長】

管理計画・個別計画に基づいて対応したいと思っている。

やり取りを口頭のみで行った結果、
過去に「撤退」となったが

町長「同じ轍は踏まないと思っている」

問

篠栗北地区産業団地の未進出企業である久原本家とは、土地の売買から2年以内に操業開始しなければならぬと、協定書を取り交わしている。既に3年以上が経過しているが、町の対応は。

答【まちづくり課長】

新型コロナウイルス感染症拡大や物流の滞り、物価高の影響により、計画の見直しが必要となり、協定書変更の覚書を結び、操業開始期間を3年延ばした令和8年3月18日までとした。

問

コロナの影響と云うが、延期を承諾する際に、企業からの財務諸表などの何を確認したのか。

答【まちづくり課長】

明細等、そういった会計処理の部分は見ていない。
口頭での話と、社会情勢を勘案し、期間の延長と覚書の締結という形をとった。

問

企業の状態を確認せず、口頭でやり取りするのが行政のやり方なのか。その結果、過去に2社撤退という無様な結果になったのだが。

答【町長】

また、前回のような轍を踏むようなことは全くないと思っている。



のぶはる
栗須 信治

録画配信



部活動改革の方向性は

学校教育課長「まずは、『平日は学校』、
『休日とは地域』で運営」

文部科学省は、少子化への

対応や教員の負担軽減を目的に、令和5年度から7年度までを「改革推進期間」と位置づけ、部活動の地域移行を進める方針を打ち出した。

本町においても、令和5年度より「地域部活動準備委員会」が設置され、学校や関係団体、保護者を交えた協議が進められている。この状況を踏まえ、以下について尋ねる。

問

試験的運用までの経緯と部活動改革の方向性は。

【学校教育課長】

先進地視察や準備委員会で協議し、指導者が複数存在し、指導実績のある陸上部や柔道部で試験的運用を始めることを決定した。方向性については、13年度までが「改革実行期間」とされたことから、まずは、「平日は学校」、「休日は地域」で運営する方針である。引き続き、国の動向を迅速に把握し、関係団体と連携しながら、部活動運営体制の整備と、持続可能な組織づくりを進めていく。

問

コーディネーターや連絡調整窓口の設置が必要では。

【学校教育課長】

設置は不可欠と考えており、連絡調整窓口を「学校教育課」内に設置し、部活動に精通した退職教職員を配置する考えである。

問

アンケート調査の実施は。

【学校教育課長】

令和5年度に、生徒・保護者や顧問教職員には2回ヒアリングと併せて実施した。その内容は、生徒・保護者には、「部活動に対する期待」など。結果は、「専門的な指導を受けたい」、「友人と楽しく活動したい」など。教職員には、「やりがい」「負担」について調査。結果は、7割以上が「やりがい」を感じており、「負担」では、休日の指導や授業準備に時間を割くことができないなどの意見が多かった。今後必要に応じてアンケート調査を実施する。

問

新たなメニューの導入は。

【学校教育課長】

社会教育課や関係各課と連携し、教育的価値や施設・用具などの要件を加味しながら、多様な活動メニューについて議論したい。

問

子供たちの希望や関心を反映させるため、小中学校でグループワーク等を開催しては。

【学校教育課長】

生徒会役員や部活動キャプテン会との協議を通じて、意見交換の場を作れるよう検討したい。

福岡県議会主催研修

ホテル日航福岡

「議会関係ハラスメント根絶のための議会研修」

(令和7年7月9日)

参加者…

古屋議長・村瀬副議長・荒牧・栗須・品川・太郎良・崎山

多様な立場の方と関わり、発言やふるまいが影響を持つ議員だからこそ、自らの言動を省みる機会とし、今後も議会全体の課題として継続的に取り組みたい。



市町村議会 議員研修

全国市町村国際文化研究所

「地方議員のための政策法務」

「政策実現のための条例提案に向けて」

(令和7年8月18日～20日)

参加者…崎山

研修では条例立案の手法を学び、演習では議会基本条例の素案を作成。議会運営のあり方や住民参加の重要性について理解を深めた。

市町村議会 一期目議員研修

福岡県自治会館

「対話する議会・議員」を目指して

「住民との意見交換会での」

「SOUNDOカード」の活用」

(令和7年8月21日)

参加者…

太郎良・門馬・吉本・浦野・崎山

意見交換会において、参加者一人ひとりの意見を引き出し、安心して発言できるためのツールとして有効であり、実際に活用することで多様な意見を共有し、効果が期待できると感じた。

町村議会・常任・議会運営委員長・副委員長研修会

福岡国際会議場

「委員会の役割と進め方について」

(令和7年8月27日)

参加者…

栗須・品川・太郎良・吉本・浦野・村瀬副議長

議会における常任委員会の役割について講習を受け、改めて重要性を認識した。また委員会内での議論を深め、政策提言や条例提案など行政上の課題解決にも繋げていきたい。



議員コンプライアンス研修

篠栗町役場

「議員とは何か・議会の在り方」
「議員活動の発信と注意すべきこと」
「議員・議会の組織としての認識の強化」

(令和7年8月28日)

講師…帖佐 直美 氏(弁護士)

参加者…全議員

議員の良識、議会内外での言葉使いや注意点、名誉棄損、侮辱に関する内容などを具体的な事例とともに詳細かつ分かりやすくご教示いただいた。

この研修を議員活動、議会活動に活かし、より良い議会となるよう努めたい。



主な議会活動報告 令和7年7月～9月

会 議 名(事件内容)		出 席 者	
7月			
1日	広報広聴委員会	品川委員長・浦野副委員長・村瀬・栗須・太郎良・吉本	
2日	文教厚生常任委員会	吉本委員長・太郎良副委員長・今長谷・栗須・門馬・古屋議長	
6日	若杉山山開き	全議員	
7日	糟屋地区副議長会(粕屋町役場)	村瀬副議長	
8日	糟屋郡町監査委員 総会・研修会	今長谷監査委員	
9日	多々良川水系改修事業促進協議会総会(福岡サンパレス)	古屋議長	
	議会関係ハラスメント根絶のための議員研修(ホテル日航福岡)	古屋議長・村瀬副議長・荒牧・栗須・品川・太郎良・崎山	
10日	糟屋地区議長協議会(志免町役場)	古屋議長	
	広報広聴委員会	品川委員長・浦野副委員長・村瀬・栗須・太郎良・吉本	
11日	議会運営委員会	古屋議長・村瀬副議長・品川・栗須・荒牧・今長谷・吉本	
12日	篠栗祇園夏まつり 篠栗中学校吹奏楽部パレード	古屋議長	
14日	主要道筑紫野古賀線道建設促進期成会総会(福岡サンパレス)	古屋議長	
15日	介護保険広域連合粕屋支部運営委員会(糟屋郡自治会館)	古屋議長・荒牧	
16日	福岡都市高速道路整備促進期成会総会(福岡サンパレス)	古屋議長	
	多々良川流域下水道促進協議会(多々良川浄化センター)	古屋議長	
18日	7月臨時会	全議員	
	全員協議会	全議員	
23日	福岡都市圏議長会総会(アークロイヤルホテル福岡天神)	古屋議長	
24日	令和6年度工事箇所調査	全議員	
	基山町議会視察対応	古屋議長・村瀬副議長・栗須・品川	
25日	例月現金出納検査(令和7年度6月分)	今長谷監査委員	
26日	介護保険広域連合 例月出納検査(福岡県自治会館)	荒牧	
31日	福岡県介護保険広域連合議会定例会(福岡県自治会館)	荒牧	
31日～1日	筑豊横断道路建設促進期成会国土交通省及び福岡県選出国議員等への要望活動(東京)	古屋議長	
8月			
4日	広報広聴委員会 意見交換会	荒牧・栗須・浦野・崎山	
6日	須恵町外二ヶ町清掃施設組合議会事前協議会	古屋議長・村瀬副議長	
8日	福岡県監査委員協議会研修(福岡県自治会館)	今長谷監査委員	
18日	粕屋南部消防組合議会議会運営委員会	古屋議長	
	粕屋南部消防組合議会定例会	古屋議長・横山	
19日	意見交換会(区長会)の事前打合せ	古屋議長・村瀬副議長・品川	
	北筑昇華苑組合議会第2回定例会(古賀市役所)	太郎良	
20日	くすのきベースSHINオープニングセレモニー	古屋議長・村瀬副議長	
21日	須恵町外二ヶ町清掃施設組合議会定例会	古屋議長・村瀬副議長・荒牧	
	町村議会1期目議員等研修会(福岡県自治会館)	太郎良・門馬・吉本・浦野・崎山	
25日	例月現金出納検査(令和7年7月分)	今長谷監査委員	
27日	常任・議連委員長・副委員長研修会(福岡国際会議場)	村瀬副議長・栗須・品川・浦野・太郎良・吉本	
28日	議員コンプライアンス研修	全議員	
29日	第19回広域行政セミナー(博多サンヒルズホテル)	古屋議長	
9月			
3日	自然環境・新エネルギー特別対策委員会	全議員	
	広報広聴委員会	品川委員長・浦野副委員長・村瀬・栗須・太郎良・吉本	
9月定例会	3日	開会	全議員
		全員協議会	全議員
	5日	一般質問	全議員
	8日	付託議案審査	総務建設常任委員会 (品川委員長・浦野副委員長・荒牧・村瀬・横山・崎山) 文教厚生常任委員会 (吉本委員長・太郎良副委員長・今長谷・栗須・門馬・古屋議長)
	9日～11日	決算審査	全議員
	12日	補正予算審査	全議員
	16日	補正予算審査	全議員
	17日	議会運営委員会	古屋議長・村瀬副議長・品川・栗須・荒牧・今長谷・吉本
		採決	全議員
	17日	広報広聴委員会	品川委員長・浦野副委員長・村瀬・栗須・太郎良・吉本
篠栗町表彰審査委員会		古屋議長・村瀬副議長・品川・吉本	
29日	福岡県介護保険広域連合支部運営委員研修会	古屋議長・荒牧	

輝く まちの宝

篠っ子ふれ・あい広場 観月会

篠栗小校区のみんなでつくる観月会。世代を超えて、心がつながる温かな場となりました。

力強く舞う！
元気いっぱいのソーラン節



ソーラン節

想いを込めた灯籠のあかり



灯籠

フィナーレを彩るナイアガラ花火



花火



旬花衆灯

食品を中心に様々な物の価格が上がっている。その中でも米不足による混乱は記憶に新しい。新米の流通も始まり、以前の様な物が無い状態は解消された様だが、依然として高値が続いている。

私の実家では、父親が米を作っている。近所の田んぼは作り手が無く、父親が代わりに作っている。しかし父親も80歳を超え、徐々に作る面積を縮小している。高齢の為、作れる量に限界を感じている様だ。昨年まで父親が作っていた田んぼが、今年は耕作放棄地になっている。父親がリタイアした後は、更に放棄地が増えると思う。

今回の米騒動を機に、皆さん一人ひとりが農政問題や農業の在り方について考えていただきたいと思います。

浦野 雅幸

令和7年第4回定例会

11/28 金 開会

12/4 木 一般質問

の予定です

発行責任者 議長 古屋 宏治

議会広報広聴委員会 委員長 品川 静／副委員長 浦野 雅幸
委員 栗須 信治・村瀬 敬太郎・太郎良 瞳・吉本 文枝

令和7年11月1日発行

発行／篠栗町議会 福岡県糟屋郡篠栗町中央一丁目1番1号 TEL092-947-1390 FAX092-947-7977

印刷／株式会社三光